

学 年 1	区分・理論・実技 技術課程 (実技)	科目名 フェイシャルエステティック (実務経験教員等による授業)	総時間 300	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書:新エステティック学「技術編Ⅰ」 ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	榊原 万里	・ エステサロン実務	CIDESCO国際資格, 認定指導講師	
常勤	平野 逸美	・ エステサロン実務	認定上級エステ資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● 施術の種類と手技またその役割・効果を実践的に学ぶ ● フェイシャルエステティックに使用する機器の種類・役割・使い方を実践的に学ぶ ● 施術における禁忌事項を実践的に学ぶ <p>※ 各施術における禁忌事項を確実に実行でき施術手技や機器が正しく操作できる技術を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ 各施術の手技・機器の特徴・効果を基に禁忌事項を含めた技術的な口答試問の内容により評価 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

学 年 1	区分・理論・実技 技術課程 (実技)	科目名 ボディエステティック (実務経験教員等による授業)	総時間 240	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書:新エステティック学「技術編Ⅰ」 ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤 常勤	黒瀬 今日子 平野 逸美	<ul style="list-style-type: none"> ・ エステサロン実務 ・ エステサロン実務 	CIDESCO国際資格, 認定講師 認定上級エステ資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● ボディエステティックの役割・効果実践的に学ぶ ● 施術の種類と手技またその役割・効果を学ぶ ● ボディエステティックに使用する機器の種類・役割・使い方実践的に学ぶ ● 施術における禁忌事項を実践的に学ぶ <p>※ 各施術における禁忌事項を確実に実行でき施術手技や機器が正しく操作できる技術を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ 各施術の手技・機器の特徴・効果を基に禁忌事項を含めた技術的な口答試問の内容により評価 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

学 年 1	区分・理論・実技 技術理論 (講義)	科目名 脱毛(ワックス) (実務経験教員等による授業)	総時間 8	期 前期 後期
使用教科書・教材等			担当教員・有資格	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書:新エステティック学「技術編Ⅰ」 ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	平野 逸美	・ エステサロン実務	認定上級エステ資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● 脱毛・ムダ毛処理の方法と特徴を学ぶ ● ウォームワックス脱毛の手技を学ぶ ● ウォームワックス脱毛の注意事項・禁忌事項を学ぶ <p>※ ウォームワックス施術における禁忌事項を確実に実行でき施術できる知識を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ 各施術の手技・機器の特徴・効果を基に禁忌事項を含めた口答試問の内容により評価 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

学 年 1	区分・理論・実技 技術課程 (実技)	科目名 メイクアップ (実務経験教員等による授業)	総時間 36	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書: 日本メイクアップ技術検定教科書 ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	平野 逸美	・ エステサロン実務	メイクアップ2級、認定上級エステ	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎スキンケアの方法を実践的に学ぶ ● ベースメイクからナチュラルメイクの基礎を実践的に学ぶ ● カバーリングメイク・カウンセリングメイクを実践的に学ぶ <p>※ 基礎スキンケア・ナチュラルメイクおよびカバーリング・カウンセリングメイクの技術を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ 基礎スキンケアからナチュラルメイクまでの技術について口答試問の内容により評価 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

令和5年度 年間授業計画表および進行表 No.1

前・後期 区分:技術理論 科目: **メイクアップ** 15H

11H

項目	指導内容	予定時間	実施予定日 実施日	実施時間
教材確認	1). 教材確認・用途について 2). 授業に必要なものについての確認	1.0		
目的と種類	1). スキンケア・ベースメイクの目的と種類	1.0		
メイクアップの印象	1). ナチュラルメイクの特徴と印象 2). 好感を持たせるメイクアップについて	1.0		
顔分析	1). 顔分析について 2). 骨格分析について	1.0		
カバーリングメイク	1). カウンセリングメイク 2). カバーリングメイク	1.0		
メイク資格試験(ベーシック)	1). メイクに必要な知識(ベーシックから) 2). カウンセリングメイク	1.0		
試験対策・まとめ	1). メイク筆記対策 2). 関連問題と解説	1.0		
前期期末試験	1). 前期期末試験	1.0		
	必須時間:前期 6H 後期 5H 前期小計 合計11H	8.0		0.0
場面に応じたメイク	1). パーティメイクからシーンメイクと特徴	2.0		
季節に応じたメイク	1). 季節に応じたメイク 2). カラーに応じたメイク	2.0		
メイコン練習	1). メイクデッサン	2.0		
後期期末試験	1). 前期期末試験	1.0		
	後期小計	7.0		0.0
合計	必須時間:前期 6H 後期 5H 合計11H	15.0		0.0

学 年 1	区分・理論・実技 技術課程 (実技)	科目名 ネイルケア (実務経験教員等による授業)	総時間 62	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書: 日本ネイリスト協会規定教科書「テクニカル・ベーシック」 ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	黒瀬 今日子	・ エステサロン実務	CIDESCO国際資格, ネイル2級	
外部	岡田 立恵	・ ネイルサロン経営	日本ネイリスト協会認定本部講師	
外部	戸川 覚子	・ ネイルサロン経営	日本ネイリスト協会認定登録講師	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● ネイルケアおよびネイルカラーの技術を実践的に学ぶ ● ネイルケアに関する衛生管理を実践的に学ぶ ● ネイル3級検定試験に関する技術を実践的に学ぶ <p>※ ネイリスト検定試験に必要な技術を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ ネイルケア・カラーの技術を理解し技術的な口答試問の内容により評価 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

令和5年度 年間授業計画表および進行表 No.1

前・後期 区分:技術理論 科目: **ネイルケア** 12H

10H

項目	指導内容	予定時間	実施予定日 実施日	実施時間
ネイル体系	1). ネイルの技術体系 2). ネイルの世界史	1.0		
衛生管理と準備	1). 手指の消毒・衛生管理 2). 基本的なワゴンセッティング	2.0		
爪の働き	1). 爪の構造と働き	1.0		
爪の病気	1). 爪の病気とトラブル	1.0		
定期試験	1). 前期期末試験 2). フィードバック	1.0		
	必須時間:前期 6H 後期 4H 前期小計 合計10H	6.0		0.0
3級検定試験対策	1). 関連問題 2). 解説とポイント	1.0		
	1). 検定試験模擬問題 2). 解説とポイント	1.0		
口頭試問対策	1). 口頭試問対策	1.0		
卒業制作課題	1). ネイルチップデッサン	2.0		
定期試験	1). 後期期末試験 2). フィードバック	1.0		
	後期小計	6.0		0.0
合計	必須時間:前期 6H 後期 4H 合計10H	12.0		0.0

学 年 1	区分・理論・実技 技術理論・選択 (講義)	科目名 フィットセラピー (実務経験教員等による授業)	総時間 8	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員・有資格	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書: 日本アロマ環境協会検定教科書 ・ 規定テキスト: 日本自然療法協会フィットセラピーテキスト ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	平野 逸美	・ エステサロン実務	アロマインストラクター、認定上級	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● 代替療法の種類とその特徴を学ぶ ● アロマセラピーとして精油の種類・特徴・働きとその活用法を学ぶ ● フィットセラピー(植物療法)として主な植物の種類とその活用法を学ぶ ● 主な精油の芳香試験に対応した知識を学ぶ <p>※ アロマセラピー検定試験を取得するための知識を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ フィットセラピー(アロマ含む)に必要な知識に関する口答試問および精油の芳香試験の内容により評価 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

